

令和2年度
子どもの力と意欲を伸ばすキャリア教育実践交流協議会

「未来をえがくキャリア・ノート！」の活用について

大分県教育委員会

キャリア・ノート活用のポイント

- ①内容を厳選して作成されていることを理解する
- ②学級活動を要として活用する
- ③教師など大人との対話的な関わりを重視する
- ④児童生徒の成長を見取り、指導に生かす資料にする
- ⑤小学校から高等学校まで引き継ぐ大切な資料であることを理解する

ポイント①【内容を厳選して作成されていることを理解する】

- 小学校～高等学校までの使用を前提とした収録シート・資料等の厳選
高校生になっても振り返ることができる分量としていることが大切



ポイント①【内容を厳選して作成されていることを理解する】

2年生のわたし 書いた日 月 日 曜日

♪わたしってこんな人です♪

①じぶんのいいところ・とくいなこと じぶんのいがおえをかこう

②ずきなこと・いま、む中になっていること・しょうらいのゆめ

③こんなじぶんになりたい！がんばりたいこと

学校でがんばりたいこと (学しゆうのこと)

(生かつのこと)

(みんなのために)

(おうちでのお手)

(おとなからのメッセージ)

2年生のわたしをふりかえって 書いた日 月 日 曜日

●わたしが出会った(すてきだと思う・かっこいいと思う・りっぱだと思う)人 (休けん漢どうや本、テレビなどで見つけた人)

2年生 2学きをふりかえって 書いた日 月 日 曜日

2学きのこと思い出して書きましょう。

2年生 1学きをふりかえって 書いた日 月 日 曜日

1学きのこと思い出して書きましょう。

学校でがんばったこと (学しゆう)

(生活)

(みんなのためにがんばったこと)

(おうちでのお手つだい・ならいことなど)

どのくらいできたかな? Oをつけましょう。

	よくできた	できた	もう少し
①家だちとなかよくできましたか。			
②はじめてのことにチャレンジしましたか。			
③分らないことはしつもんしましたか。			
④すすんでべん強をしましたが。			
⑤すすんでお手つだいをしましたか。			

(おとなからのメッセージ)

わたしのあこがれの人 書いた日 月 日 曜日

●わたしが出会った(すてきだと思う・かっこいいと思う・りっぱだと思う)人 (休けん漢どうや本、テレビなどで見つけた人)

2年生のわたしをふりかえって 書いた日 月 日 曜日

みつけよう

かえって

よくできた	できた	もう少し
☆	☆	☆
☆	☆	☆
☆	☆	☆
☆	☆	☆
☆	☆	☆

とところですか。

ポイント①【内容を厳選して作成されていることを理解する】

大分県教育研究会進路指導・キャリア教育部会作成の「自分を知ろうカード」
(小学校版P32 6年生の振り返り)

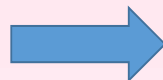
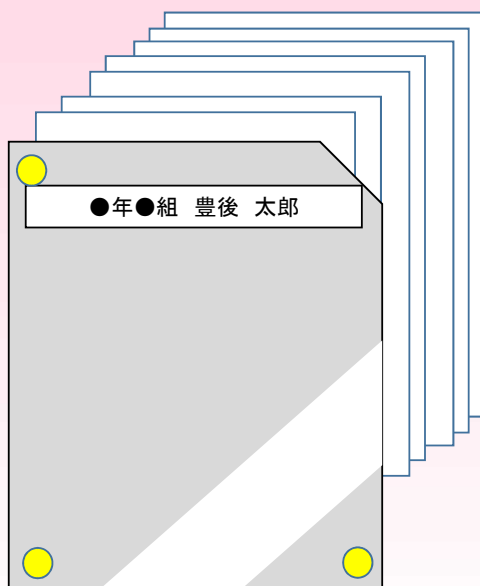
令和2年度からは
「自分を知ろうカード」は配付されません。
代わりにキャリア・ノートを使い、児童の成長の記録や将来への期待、不安な思いを中学校へ引き継ぐ

指導要録などとともに引き継ぐことが大切

ポイント①【内容を厳選して作成されていることを理解する】



教室背面のクリアファイルなどにはさまれている行事や授業の振り返りのプリントをキャリア・ノートの記入時に活用することが考えられます。



添付することも考えられますが、内容の厳選が必要です。

ポイント②【学級活動を要として活用する】

小学校授業例

「キャリア・ノート」を活用した授業例		小学校 年度はじめ
(1) 小学校 特別活動 (2) 低～高学年 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」 ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成 (3) 題材「〇年生になって」 (4) 事前の指導 > 「キャリア・ノート」を見返して前学年での学習や生活を振り返るとともに、理想の学級生活やなりたい自分についておおらかなイメージをもつことができるようにしておく。		
(5) 本時の学習		
	児童の活動 〇前学年の年度末に書いたキャリア・ノートをもとに、前学年を振り返り、自分や友だちの成長について話し合う。 〇これまでの自分を振り返り、あらためてなりたい自分について願いをもち、 ・目標をもって生活することの大切さに気づく。 ・前学年と比べた自分たちの成長について考え、成長を重ねていくことが大切であることに気付く。	指導の留意事項 > 自分の学習や生活を振り返るとともに、将来の自分と今の自分とのつながりを理解し、今年度の具体的な目標を考える気持ちを高める。 > 今の自分の経験や思いを記録していくことの意義を感じられるようにする。
導入	〇前学年の年度末に書いたキャリア・ノートをもとに、前学年を振り返り、自分や友だちの成長について話し合う。 〇これまでの自分を振り返り、あらためてなりたい自分について願いをもち、 ・目標をもって生活することの大切さに気づく。 ・前学年と比べた自分たちの成長について考え、成長を重ねていくことが大切であることに気付く。	> 自分の学習や生活を振り返るとともに、将来の自分と今の自分とのつながりを理解し、今年度の具体的な目標を考える気持ちを高める。 > 今の自分の経験や思いを記録していくことの意義を感じられるようにする。
展開	〇「なりたい自分」になるために、まずどんなことに取り組めばよいか話し合う。 ・これまでの自分の経験をもちに話し合う。 ・全ての経験が、自分の成長につながることに気付く、様々なことに挑戦しようという意欲をもつ。	> 自分の経験が、友達へのアドバイスになることを伝える。 > 伝記などを参考に、将来と今のつながりや努力は無駄にならないことに気付かせる。 > 友達の経験が、全て自分にも当てはまるとは限らないことを伝えておく。その上で、自分の意思で決定することが大切であることを伝える。
終末	〇「なりたい自分」になるための目標やこれから取り組むことを決める。 ・意思決定したことをキャリア・ノートに記入する。	> 話し合ったことを生かして自分に合った具体的な実践内容や行動目標を意思決定することができるようにする。
(6) 事後の指導 > 意思決定した目標や実践方法について1週間程度取り組み、ペアやグループで振り返って互いの頑張りを成果を認め合う。 > 本時で意思決定したことが継続した実践となったり、必要に応じて新たなめあてを立てて取り組んだりすることも考えられる。		
(7) 実施時期 4月中での実施を想定している。		

「キャリア・ノート」を活用した授業例		小学校 年度末
(1) 小学校 特別活動 (2) 低～高学年 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」 ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成 (3) 題材「〇年生をふり返ろう」 (4) 事前の指導 > 次の学年で楽しみにしていることやがんばりたいことのアンケートをとり、まとめておく。		
(5) 本時の学習		
	児童の活動 〇アンケート結果から、気付いたことを話し合う。 ・友達を楽しみにしていることやがんばりたいと思っていることを知る。 〇今年度記入したワークシート類や「キャリア・ノート」を参考にしながら、1年間の生活や学習を振り返り、自分たちの成長を話し合う。 ・印象に残った出来事 ・自分が成長したと感じること ・自分と同じように、友だちも成長していることに気付く	指導の留意事項 > 写真等を掲示したり、これまで記録したワークシートなどを用意したりしておく。 > 学校以外での成長についても触れる。 > 対話を通して、様々な経験により、個々が成長したことに気付かせるようにする。 > 互いの成長を喜び合える雰囲気を作る。
導入	〇アンケート結果から、気付いたことを話し合う。 ・友達を楽しみにしていることやがんばりたいと思っていることを知る。 〇今年度記入したワークシート類や「キャリア・ノート」を参考にしながら、1年間の生活や学習を振り返り、自分たちの成長を話し合う。 ・印象に残った出来事 ・自分が成長したと感じること ・自分と同じように、友だちも成長していることに気付く	> 写真等を掲示したり、これまで記録したワークシートなどを用意したりしておく。 > 学校以外での成長についても触れる。 > 対話を通して、様々な経験により、個々が成長したことに気付かせるようにする。 > 互いの成長を喜び合える雰囲気を作る。
展開	〇次の学年に向けてなりたい自分を思いえがく。 ・上学年の姿を想像し、大まかななりたいイメージをもつ。 〇なりたい自分に向けて、今から取り組みたいことについて話し合う。 ・これから挑戦したいことや、継続して取り組みたいこと等について話し合う。	> 上学年からのメッセージを紹介することで、イメージをもちやすくする。 > イメージしにくい児童には素直な思いを引き出せるように助言する。 > 実践可能で具体的な内容となるようにする。
終末	〇話し合ったことをもとに、自分に合った具体的な目標や実践方法を意思決定し、「キャリア・ノート」に書く。 ・具体的なめあてや実践内容を決める。 ・次の学年への前向きな気持ちが高まるようにする。	> 次の学年へ向けて、残りの学校生活を有意義に過ごせるようにする。
(6) 事後の指導 > 決めた目標について、〇年生最後の日まで取組を続け、振り返りを行う。 > 低・中学年の場合は短期間期間で実践を振り返るようにする。		
(7) 実施時期 2～3月中での実施を想定している。		

ポイント②【学級活動を要として活用する】

中学校授業例

「キャリア・ノート」を活用した授業例		中学校 年度はじめ
(1) 中学校 特別活動 (2) 1学年 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」 ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用 (3) 題材「先輩からの新入生へのエールのメッセージを読み、自分の考えをまとめよう」 (4) 本時の学習		
	生徒の活動 > 先輩からの新入生へのエールのメッセージを読み、自分の考えをまとめ目標を決める時間であることを確認する。 > これから行う活動の流れについて説明を受ける。	指導の留意事項
導入	> 先輩からの新入生へのエールのメッセージを読み、自分の考えをまとめ目標を決める時間であることを確認する。 > これから行う活動の流れについて説明を受ける。	
展開	> 個人で「〇〇中学校へ入学して」(ワークシート)を記入する。 > 中学校2年生からの新入生へのエールのメッセージをグループ内で回覧する。 > 自分が「このメッセージが良いな、共感するなと感じたもの」をグループ内で話し合う。 > 「なぜ、そのメッセージが良いと感じたか」をグループ内で相互に質問をする。 > 中学校2年生からからの新入生へのエールのメッセージや、クラスメイトとのグループ協議を通じて感じたことや考えたことなどをワークシートにまとめる。	> 生徒が現在の気持ち(期待や不安)を素直に表現できるよう、クラスの雰囲気等に配慮する。 > 時間内でグループを組み直すなど、クラス内のできるだけ多くの生徒の発表を聞く事ができるよう工夫。 > 他者の意見を否定せず、傾聴の態度を促す。 > 自己理解や他者理解、新たな人間関係の構築につなげる。
終末	> 「中学生のみなさんへ」を読み、中学校においてさらに伸ばしたい力を意思決定すると共に、中学校で引き続き「キャリア・ノート」を作成することの意義を再認識する。	> 中学校において、学習面や生活面においての目標、家庭や地域での目標、その他資格取得等、具体的に取り組みたいことを考えさせる。
(5) 事後の指導(活動) > このあと、中学校1年生学年初めの「キャリア・ノート」の作成時間を設定する。 > 「〇〇中学校へ入学して」は「1年間を振り返り新入生へメッセージを書こう」時に、生徒に返却する。 > 「〇〇中学校へ入学して」や作成したワークシートは担任との面談などにも活用する。		
(6) 実施時期 4月初旬での実施を想定している。		

「キャリア・ノート」を活用した授業例		中学校 年度末
(1) 中学校 特別活動 (2) 1学年 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」 ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用 (3) 題材「1年間を振り返り、新入生へエールのメッセージを書こう」 (4) 本時の学習		
	生徒の活動 > 1年間の自分の成長の足跡を振り返り、先輩として新入生へのエールのメッセージを書く活動であることを知る。 > これから行う活動の流れについて説明を受ける。	指導の留意事項
導入	> 1年間の自分の成長の足跡を振り返り、先輩として新入生へのエールのメッセージを書く活動であることを知る。 > これから行う活動の流れについて説明を受ける。	
展開	> 小学校6年生の「自分を知らう!」のページや中学1年生年初めと、各学期末に書いた内容をもとに、入学したころの自分と一年間の自己の成長を個人で振り返る。 > 自己の成長のきっかけとなったできごとや、成長を支えてくれた人やものなどについて、個人で振り返った内容をグループ内で伝え、互いにコメントをし合う。 > 自分の発表に対するクラスメイトのコメントや、クラスメイトの発表を聞いて感じたことや考えたことをワークシートにまとめ発表する。	> 時間内でグループを組み直すなど、クラス内のできるだけ多くの生徒の発表を聞く事ができるよう工夫する。 > 他者の意見を否定せず、傾聴の態度を促す。 > 自己理解や他者理解、新たな人間関係の構築につなげる。
終末	> 中学校での自分の経験や成長をもとに短冊に「新入生へのエールのメッセージ」を書く。 > 2年生に連絡するにあたりさらに伸ばしたい力を意思決定すると共に、引き続き「キャリア・ノート」を作成することの意義を再認識する。	> 入学時の期待と不安な気持ちをもった自身自身にメッセージを送るつもりで考えさせる。 > 新入生へのエールのメッセージが自分へのメッセージにもつながることをおさえる。
(5) 事後の指導(活動) > このあと、学年末の「キャリア・ノート」の作成時間を設定する。 > 終業式に通知表とともに「キャリア・ノート」を持ち帰り、保護者にメッセージをもらう。新クラスで提出させる。		
(6) 実施時期 2～3月中での実施を想定している。 (2年学年末には「先輩になる君へのメッセージ」卒業前には「最高学年になる君へのメッセージ」などが考えられる。)		

ポイント③【教師など大人との対話的な関わりを重視する】

●教師や保護者によるコメントの重要性

作成や振り返りの際の「対話的な関わり」の重要性

★「しんどい時期」の記入、「しんどかった時期」の振り返りの際にこそ教師の力量が問われる



小

<秋田県総合教育センターのホームページより>

中

・年度末に保護者にキャリア・ノートに記入してもらうことにより、家庭への啓発になり、子どもの励みにもなっている。（鹿角市立花輪小学校）

・〇学校での全ての活動や学びが「やがての力」となっており、よりよい自分や将来につながることも理解させることができた。保護者にも共有してもらおうことができた。（羽後町立三輪中学校）

キャリアノート 1年生②

小学1年生のわたし②

2月 20日(月)

じぶんのことを見つめよう。じぶんのがんばりを見つけよう。

☆どちらかにいるをぬる。

	できる	もうすこし
① ともだちのいいところをいっぱい見つけることができているかな	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② じぶんのおもったことやかんがえをはなしているかな	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ できるようになりたいことをさいごまでがんばっているかな (どんなこと? なわとび)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ みんなのためにがんばりたいことはできているかな (どんなこと? かかりのしごとをやる)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ (いっしょでできたこと) 一人べんごうをきれいにがんばります。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

学校や学校のまわりのすきなところをもっとおしえるよ。

わたしはさいきん、たいてい、かすきに なりました。

先生から
いいかんがえをもらっていますよ。もっと、ほびなうして下さい。友だちとも仲よくしています。

おうちのひとから
○おは、たぶんいいところがあります!! みんなのたのしみ、うれしさをいっしょでおもてなすでがんばるおしやせをして、じこづかいおで、おあつらいがねて。もどかしくしてあげて。○おいひとろを、おははにおいてあげてあげて。おんか... よろこびました!!

いつも前向きにクラスのためにがんばってくれた●●さんでした。羽後中でもいろいろなことにチャレンジしてさらに良さを発揮してくださいね。

キャリアノート 中学校 中2

1年間を振り返る

1 この1年間で、4月に書いた「将来、私はこんな自分になりたい!」に変化はあったか。

3月 1日(火)

この1年間で、学級委員に選ばれたことが、先生代表あいつをやっておぼいかなどとてでん投票されました。それに対して、自分のため、クラスのため、積極的にならなければならなかった。それから、この目標は達成できたと思います。

年生の目標について振り返る ※4月に記入した目標を眺めながら考える。

◆学習について
◎成果があったこと 授業は積極的に手を挙げて発表することができた。
△不足だったこと 予立期間中に7-7に進め、飛出...
◆生活について
◎成果があったこと この1年間で、色々なことを経験することができた。
△不足だったこと 授業中、積極的に発言し、意見を述べることができなかった。

◆職業について
「働くこと」、「仕事をする」ということについて、私は、職業に興味がある。その中で、私は、職業について、いろいろと調べてみた。その中で、私は、職業について、いろいろと調べてみた。その中で、私は、職業について、いろいろと調べてみた。

先生から
いつも前向きにクラスのためにPACに頑張ってくれた。ぜひ、羽後中でもいろいろなことにチャレンジして、さらに良さを発揮してくださいね。

保護者の方から
この学年で取り組むべきことを、自分も一緒に考えて取り組んでほしい。

これから前向きにいろいろな事にチャレンジして自分を張ってほしいです。

<大分県版キャリア・ノートより>

小学校版 P11

わたしのあこがれの人

書いた日 月 日 曜日

●わたしが出会った（すてきだと思う・かっこいいと思う・りっぱだと思う）人
（体けん活どうや本、テレビなどで見つけた人）

●その人のしごと、まき方から思ったことやかみんじたことを書く ●その人から学んだことやその人に近づきたいにがんばりたいことを書く

●がんばったらどんなことが自分や友だちのためにやく立ちそうですか？

小学校1. 2年生のわたしをふりかえって

一番楽しかったことと、その理由を書きましょう

できるようになったことをたくさん書きましょう

たくさんがんばりました。3年生が楽しみです

どんな3年生になりたいですか。せん言しましょう！

[おとなからのメッセージ]

小学校版 P40.41 中学校版P8.9

中学校1年生の私を振り返って

記入日 月 日 曜日

自分の気持ちや行動に一番近いところに○を付けよう

① 近頃から学校の生活が楽しくなり、自分の考えや気持ちを表現できるようになりましたか。
② 自分から進んで活動に参加できるようになりましたか。
③ 自分から進んで活動に参加できるようになりましたか。
④ 自分から進んで活動に参加できるようになりましたか。
⑤ 自分から進んで活動に参加できるようになりましたか。
⑥ 自分から進んで活動に参加できるようになりましたか。
⑦ 自分から進んで活動に参加できるようになりましたか。
⑧ 自分から進んで活動に参加できるようになりましたか。

○なりたいたい自分になるために身に付いたと思うこと、その理由

身に付いたと思う力 理由

○卒業する時の自分（15歳の私）を想像しよう

卒業するときに、どんな自分になっていたか 15歳のあなたが選んでいる道（道徳・将来の夢・職業など）

そう思った理由やきっかけ 15歳でなりたいたい自分に近づくために、今、頑張りたいこと

○中学校2年生になる自分への応援メッセージ

[大人からのメッセージ]

ポイント④【児童生徒の成長を見取り、指導に生かす資料にする】

- 児童生徒の自己評価や相互評価は学習の一環
一人一人のよさや可能性を見取るための重要参考資料となる。
また、学級、学年、学校としての教育目標を設定するときの参考資料にもなる。



小学校中学年でがんばってほしいこと（小学校版 P12）

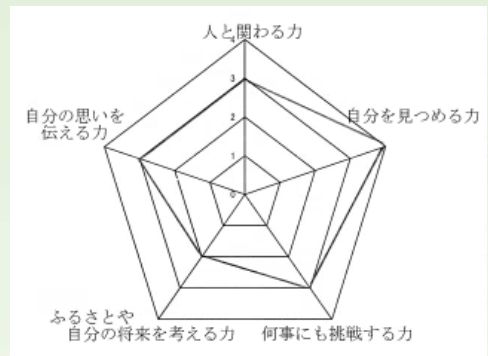
○ <u>自分の気持ちを、友だちに分かりやすくつたえること</u>	○ <u>クラスや友だちのために、すすんで行こうしたり、きょうかしたりすること</u>
○ <u>しらべたいことや知りたいたいことがある時、自分からすすんで先生にしつもんしたり、本でしらべたりすること</u>	○ <u>しょう来のゆめや目標にむかってがんばったり、べん強や生活のし方をくふうしたりすること</u>

小学校4年生 振り返り(小学校版 P20)

どのくらいできたか、○をつけましょう。	よくできた	できた	もう少し
① 自分の気持ちを、友だちに分かりやすく伝えることができましたか。	人間関係形成・社会形成能力		
② クラスや友だちのために、進んで行動したり、協力したりできましたか。	自己理解・自己管理能力		
③ 調べたいことや知りたいたいことがある時、自分から進んで先生にしつもんしたり、本で調べたりできましたか。	課題対応能力		
④ しょう来のゆめや目標に向かってがんばったり、勉強や生活の仕方を工夫したりできましたか。	キャリアプランニング能力		

中学校の目標(小学校版 P33 中学校版 P1)

人間関係形成・社会形成能力 様々な人の考えや立場を理解し、相手の意見を聞いて自分の考えをきちんと伝えることができたり、自分の置かれている状況を受け止めて、役割を果たしたりしながら、周りの人と一緒に協力して様々な活動の計画を立てることなどに積極的に参加することができる力	自己理解・自己管理能力 自分が「できること」「価値を感じること」「したいこと」などについて、周りの人やものとの関係を大切に、自分自身の可能性や前向きな自分への理解を基に進んで行動し、かつ自分の感情をコントロールしながら、これからの自分の成長のために進んで学ぼうとする力
課題対応能力 仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力	キャリアプランニング能力 自分が果たすべき様々な立場や役割との関連について考えながら「働くこと」の意味や価値を理解し、色々な人の生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、進んで判断して将来に向けて自分の成長を積み重ねていこうとする力



中学校2年生 振り返り(小学校版 P48 中学校版 P16)

自分の気持ちや行動に一番近いところに○を付けよう	よくできた	できた	もう少し
① 友だちや家の人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとしたか。	人間関係形成・社会形成能力		
② 相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝えようとしたか。	自己理解・自己管理能力		
③ 自分から役割や仕事を見付け、分担するなど、周りの人と力を合わせて行動しようとしたか。	課題対応能力		
④ 自分の興味や関心、長所や短所を把握しようとしたか。	自己理解・自己管理能力		
⑤ あまりやる気が起きない物事に対する時でも、自分がすべきことには取り組もうとしたか。	自己理解・自己管理能力		
⑥ 不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとしたか。	自己理解・自己管理能力		
⑦ 分からないことやもっと知りたいことがある時、自分から進んで資料や情報を収集しましたか。	課題対応能力		
⑧ 何かをする時、見通しをもって計画的に進めることができましたか。	課題対応能力		
⑨ 何か問題が起きた時、次に同じような問題が起こらないようにするために、何を改善すればよいか考えましたか。	課題対応能力		
⑩ 今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えるなど、学ぶことや働くことの意義について考えましたか。	キャリアプランニング能力		
⑪ 自分の将来について具体的な目標を立て、その実現のための方法について考えましたか。	キャリアプランニング能力		
⑫ 自分の将来の目標に向かって、生活や勉強の仕方を工夫するなど、努力しましたか。	キャリアプランニング能力		

教育目標を設定する時の参考資料になる

ポイント⑤【小学校から高等学校まで引き継ぐ大切な資料であることを理解する】

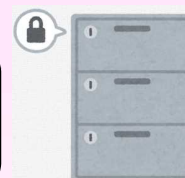
●全校種を通して使用するもの

重要な個人情報を含むとともに、児童生徒の成長の記録が長年にわたり記録されている貴重な資料である。

なくす・よごすなどがないように。「しばらく使わない」が紛失の原因になる。



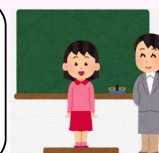
誰でも閲覧できるような場所に保管しない。保管・管理は職員室等で行う。



特に卒業時になくさないように。高校まで使うことを児童生徒、保護者に理解してもらうことが大切。



私立学校や県外からの転入があった際は市町村教育委員会、教育事務所等の予備で対応する。それでも足りない場合は義務教育課の予備で対応する。



定期的に家庭に持ち帰らせ、保護者と子どもの成長について共有する。



ご静聴ありがとうございました。

令和2年度 子どもの力と意欲を伸ばすキャリア教育実践交流協議会

協議題 「自己のキャリア教育の現状と 充実に向けたこれからの取組について」

大分県教育委員会

PDCAで見るキャリア教育推進状況チェックシート

自分の現状に近いと思う項目をチェックし、課題を見出していきましょう。

P 計画	【目標の設定】 キャリア教育の目標(キャリア教育を通して身に付けさせたい力や、目指す児童生徒像)については…	<input type="checkbox"/> 定めていない	<input type="checkbox"/> 定めているが、目標達成の検証が可能な具体的な文言にはなっていない	<input type="checkbox"/> 目標達成の検証が可能な具体的な文言を用いて定めているが、ここ数年見直していない	<input type="checkbox"/> 目標達成の検証が可能な具体的な文言を用いて定めており、児童生徒の実状などに応じて、数年ごとに見直している
	【教育活動全体を見通した実践】 教育活動全体を通したキャリア教育の取組については…	<input type="checkbox"/> 特に意識して取り組んでいない	<input type="checkbox"/> できる範囲で取組もうという意識はあるが、教員ごとの取組の差が大きい	<input type="checkbox"/> 教科等を通したキャリア教育に取り組んでいるが、それらを相互に関連付ける取組が未整備である	<input type="checkbox"/> 教科等を通したキャリア教育は多様に実践されており、それらを相互に関連付けた取組も計画的に行われている
D 実践	【家庭や地域社会との連携】 地域の教育力を生かしたキャリア教育の取組については…	<input type="checkbox"/> 特に意識して取り組んでいない	<input type="checkbox"/> 保護者や地域の事業所などと連携・協力し、体験的なキャリア教育に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> 保護者や地域の事業所などと連携・協力し、体験の意図やねらいについての共通理解も得て体験的なキャリア教育に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> 保護者や地域の事業所などと連携・協力し、学校のキャリア教育全般についての理解と協力も得て体験的なキャリア教育に取り組んでいる
	【児童生徒の成長・変容の把握】 キャリア教育を通した児童生徒の変容については…	<input type="checkbox"/> 特に意識して把握していない	<input type="checkbox"/> 学校生活を通して把握するようにしているが、教員間で共有されていない	<input type="checkbox"/> 学校生活を通した把握の上に、意識調査やキャリア・ノートなどの資料はあるが、キャリア教育の視点から考察・分析はしていない	<input type="checkbox"/> 学校生活を通した把握と合わせて、身に付けさせたい力の視点から意識調査やキャリア・ノートの活用などを実施し、結果については経年変化などの分析も加えて、教員間で共有している
C 評価	【実践の振り返りと検証】 キャリア教育の取組に関する振り返りや評価については…	<input type="checkbox"/> 特に意識して振り返りをしていない	<input type="checkbox"/> 年度当初計画した取組が円滑に実施できたか、という点についての振り返りは行っている	<input type="checkbox"/> 取組の円滑な実施という観点の他に、キャリア教育を通した児童生徒の成長や変容を踏まえ、取組や指導の在り方を見直している	<input type="checkbox"/> 取組の円滑な実施や全般的な成果・課題という観点の他に、特に重要な取組については、児童生徒の意識調査や自己評価などにより検証している
	A 改善	【指導計画の改善】 キャリア教育の指導計画の見直しについては…	<input type="checkbox"/> ここ数年見直していない (指導計画は作成していない)	<input type="checkbox"/> 毎年度、教員の負担や予算などの観点から、取組の見直しを行っている	<input type="checkbox"/> 毎年度、キャリア教育を通した児童生徒の成長や変容を踏まえて取組や指導の在り方を見直している

協議題

「自分のキャリア教育の現状と充実に向けたこれからの取組について」

協議の流れ

- ①自分のキャリア教育の現状把握
 - ★チェックシートの記入
 - ★グループ内で自己紹介(キャリア・ノートの記入状況の交流含む)
 - ★キャリア教育推進状況チェックシート結果や自分のキャリア教育の取組みについて交流

- ②キャリア教育の充実のために、キャリア・ノートの活用も含め、今後どんなことに取り組んでいきたいか

- ③ ②をグループ内で交流し、取組の参考にする

協議題

「自分のキャリア教育の現状と充実に向けたこれからの取組について」

指導講評

国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部

教育課程調査官 安部 恭子 氏